



外環 JOURNAL

ガイカンジャーナル

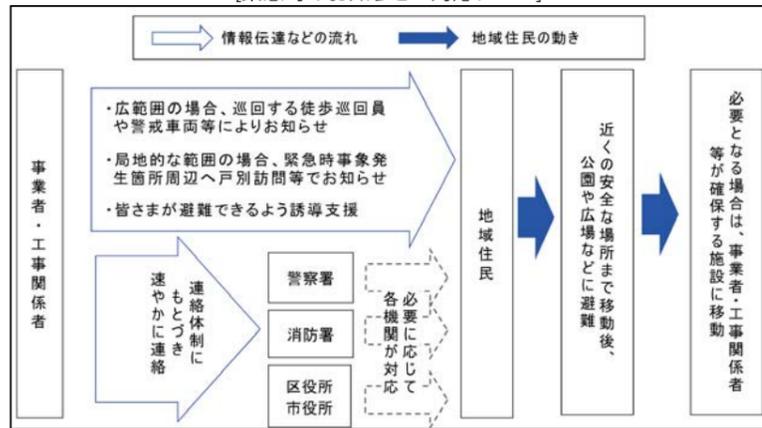
NEWS

4. 皆様へお知らせ

<令和6年9月に「トンネル工事の安全・安心確保の取組み」の一部改訂を行いました>

「トンネル工事の安全・安心確保の取組み」において、東名JCT地中拡幅部の工法に関する内容を追加しました。引き続き、安心・安全確保の取組みを確実に実施するとともに、あらかじめ緊急時の対応を準備し、地域の皆様の安全・安心確保に向けて取り組んでまいります。

[緊急時のお知らせ・対応フロー]



「トンネル工事の安全・安心確保の取組み」P13より抜粋



<シールドマシンの掘進履歴が検索できるようになりました!>

東京外環プロジェクトホームページでは、シールドマシンの現在位置を毎日お知らせしています。これに加え、シールドマシンの過去の進捗状況を検索できるようにホームページを更新しました。日付と対象の工事名を選択して検索ができますので、是非ご覧ください。



<家屋調査の実施>

シールドトンネル工事の掘進作業や地中拡幅工事にあたっては、細心の注意を払いつつ、慎重に進めてまいります。万が一、工事の施工に起因する建物等の損害が発生した場合は、当該損害に対して補償させていただきます。そのため、工実施前の建物等の状況を把握する家屋調査を工事箇所周辺にお住まいの皆様を対象に実施しています。

東名JCT地中拡幅工事の着手にあたり、新たに調査対象となった方やこれまでご意向を確認できていない方におかれましては、調査内容のご説明とご意向の確認のため、訪問させていただきます。

なお、すでに調査にご協力頂いた方の中で、ご自宅の建替えやリフォームをされて再調査をご希望の方や、新たに調査をご希望される方は、下記問合せ先にご連絡をお願いします。

<外環メールマガジン>

外環メールマガジンにご登録いただくと、施工状況やオープンハウスなどイベントの情報等を随時お受け取りいただけます。是非ご登録ください。

東京外環の工事情報等については専用ホームページでもご覧いただけます。
東京外環プロジェクト 検索
https://tokyo-gaikan-project.com/

| | | |
|---|--|--|
| | | |
| 外環専用フリーダイヤル TEL 0120 - 34 - 1491 (平日9:15~18:00) | 外環専用フリーコール TEL 0120 - 861 - 305 (平日9:00~17:30) | 外環専用フリーコール TEL 0120 - 016 - 285 (平日9:00~17:30) |

1. 新たにシールドマシンの掘進作業を開始しました!

令和6年9月から中央JCT南側ランプシールドトンネルが、掘進作業を新たに開始しました。引き続き、すでに掘進作業を行っているシールドマシンを含め、事業者一同、細心の注意を払い安全に工事を進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



2. 東名JCT地中拡幅工事の施工計画などに関するオープンハウスを開催

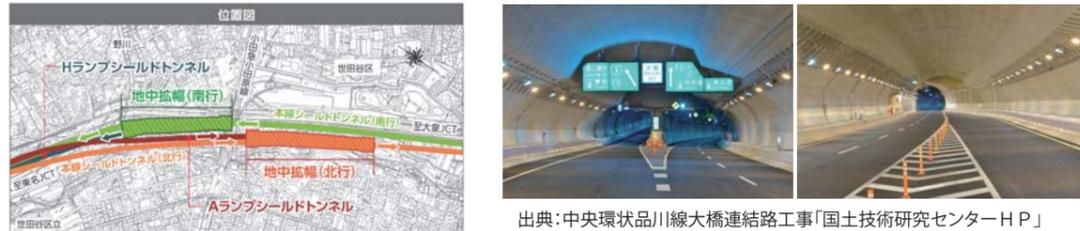
第30回東京外環トンネル施工等検討委員会(令和6年9月10日開催)で、東名JCT地中拡幅工事の施工計画及び地域の安全・安心を高める取り組みは、施工を行う上で安全性・確実性が確保された妥当なものであることを確認しました。また、令和7年1月10日及び11日に東名JCT地中拡幅工事箇所周辺にお住まいの方を対象に、施工計画などを説明するオープンハウスを開催しました。詳細はホームページをご確認ください。

東名JCT地中拡幅工事は令和7年1月下旬以降、準備が整い次第、準備工に着手し、順次施工を進めてまいります。施工状況や周辺環境のモニタリングを行いながら細心の注意を払い安全に工事を進めてまいります。

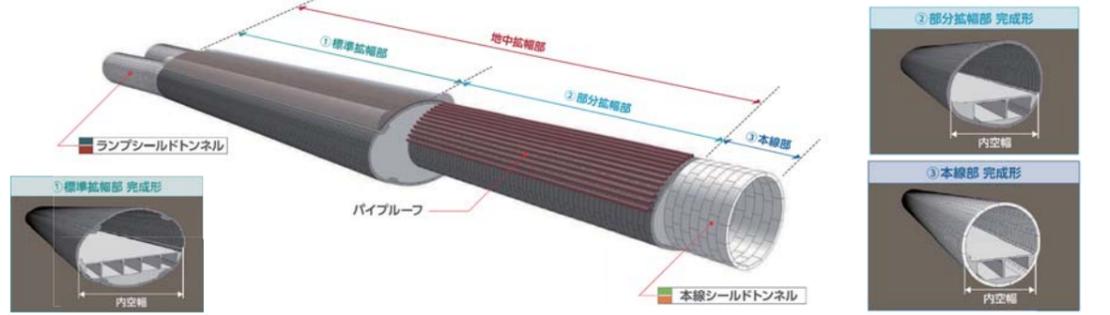
<東名JCT地中拡幅工事について>

地中拡幅工事とは、JCT部の本線シールドトンネルと連絡路(ランプ)シールドトンネルの分合流部を地中に切り抜けてつなげる工事です。

東名JCT地中拡幅部は、これまでの地質調査及びシールドの掘進実績を踏まえ、多くの施工実績を有する都市部山岳工法(NATM)を適用するとともに、中央環状品川線で施工実績を有する「セグメントを用いたシールドトンネルの地中拡幅工法」と部分拡幅部における「本線シールドトンネルを利用した本線部分拡幅工法」を適用し施工してまいります。

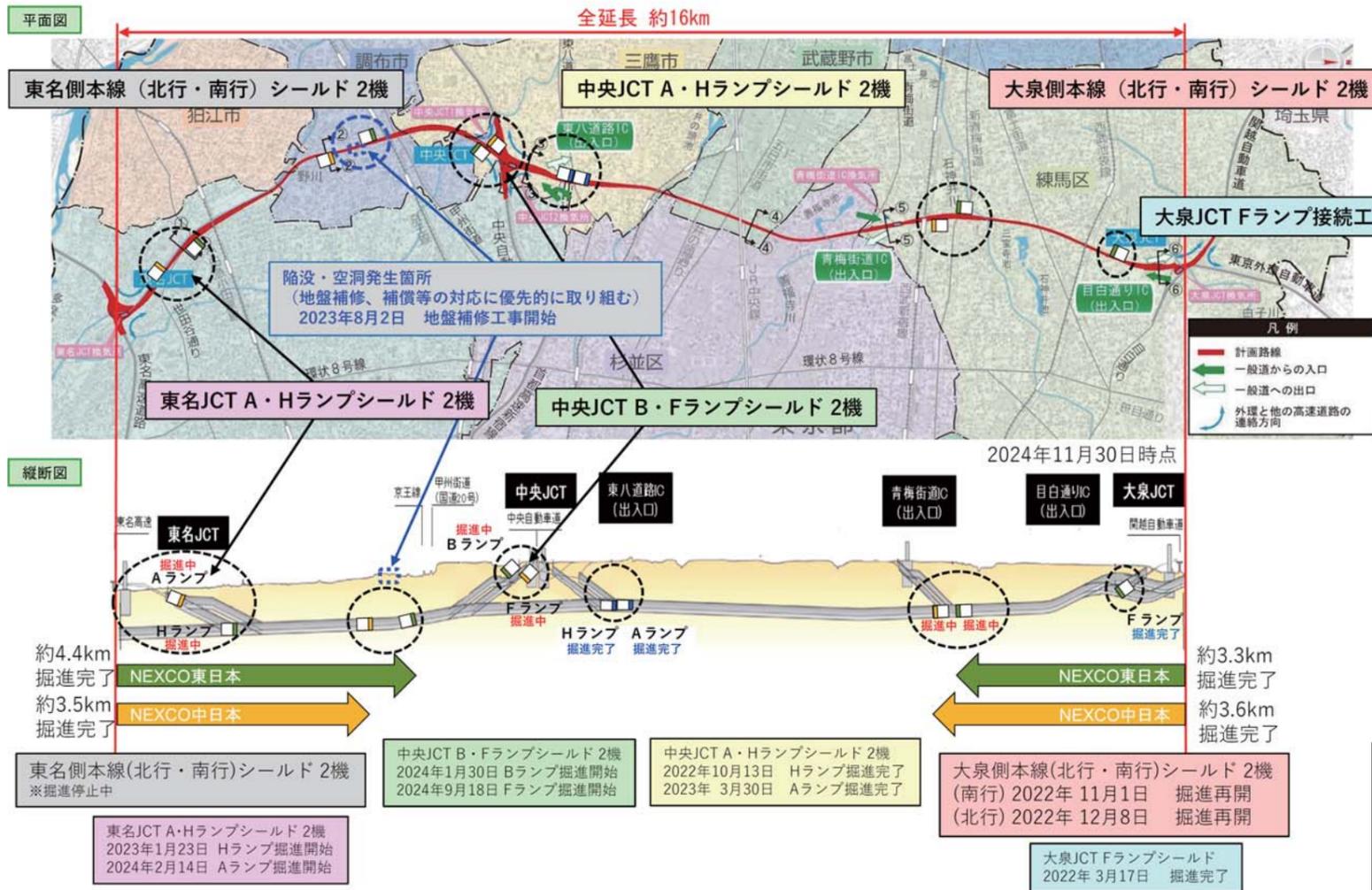


出典:中央環状品川線大橋連絡路工事「国土技術研究センターHP」



3. 工事の状況をお知らせします

- シールドマシンの掘進作業については、再発防止対策等が有効に機能していることを、有識者委員会で確認しており、安全に作業を進めています。
- 各JCTにおいても、外環道と既存の高速道路を接続する連結路(ランプ)部工事や開通後に必要となる設備の工事を進めています。



大泉JCT

【本線分合流部】

Fランプシールド掘進区間 約568m

Fランプ接続区間 185m

Fランプ接続区間の工事状況

Bランプ接続区間の工事状況

Bランプ開削区間の工事状況

Bランプ料金所

Bランプ開削区間

施工中 施工済

2本ある連結路(ランプ)のうち、Fランプについてはシールドマシンによる掘進作業が完了し、現在は本線と連結路(ランプ)を接続するための工事を進めています。また、Bランプ接続区間の工事は令和6年3月より着手しており、地上部からの開削により構造物の工事を進めています。

東名JCT

地下構造物工事状況 R6.11.27撮影

2本の連結路(ランプ)についてシールドマシンによる掘進作業を行っており、連結路(ランプ)部においては、令和6年5月より橋りょう工事に着手しました。また、設備用の地下構造物の構築や令和6年8月に台風10号に伴う大雨の影響により変状が確認された土留壁等の復旧工事を進めています。

中央JCT

中央JCT南側地上部 R6.10.31撮影

北側の2本の連結路(ランプ)はシールドマシンによる掘進作業が完了しており、現在は南側の2本の連結路(ランプ)についてシールドマシンによる掘進作業を行っています。また、シールド工事以外の連結路(ランプ)部及び設備用の地下構造物の構築を進めています。

大泉側本線(北行)シールドトンネルのスクリーコンベヤー変状

スクリーコンベヤー※の一部で変状が確認されたことから、補修作業等を実施するために、令和6年10月22日から11月28日の間、掘進を一時停止しました。今回生じた変状の原因及び補修等の対応、今後の対応について、有識者に確認し、点検頻度の強化や補修時期の前倒しなど保守方法の見直しを行ってまいります。

※シールドマシンにより掘削した土砂を後方へ搬出するための設備

地盤補修工事の進捗状況

令和2年10月18日に調布市内で発生した陥没・空洞事故及び、その後の地盤補修工事におきましては、地域の皆さまに大変なご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。地盤改良体の造成の進捗は約3割※1となっており、令和4年12月の準備工事着手から概ね2年程度を想定していた地盤補修工事の期間は、1年程度延長となる見込み※2です。引き続き丁寧な説明を心掛けながら、細心の注意を払い、安全に地盤補修工事を実施してまいります。

地盤補修状況

※1令和6年11月30日時点
※2仮移転・買収等の交渉・移転が順調に進んだ場合